

香川高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	人文科学Ⅳ
科目基礎情報					
科目番号	1148		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電子システム工学科 (2019年度以降入学者)		対象学年	5	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	プリント配布				
担当教員	森 あかね				
到達目標					
① 言語表現 (音声や映像表現も含む) の学習を通して、日本語による表現技法を身につける。 ② グループワークを通して、問題解決能力・討論力の向上を目指す。 ③ 情報の収集・分析を行ない、適切な手段を用いて効果的に他者に伝える力を養成する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	自分の思考を言語化して、適切かつ効果的に表現することができる。		自分の思考を言語化して、表現することができる。		自分の思考を言語化して、表現することができない。
評価項目2	グループでの問題解決のため、自身の役割を果たし、作品づくりに大いに貢献できる。		グループで問題解決のため、自身の役割を果たし、作品づくりに参加できる。		グループで問題を設定し、自身の役割を果たすことができない。
評価項目3	情報を分析し、他者に対してわかりやすく伝えることができる。		情報を分析し、他者に対して伝えることができる。		情報を分析し、他者に対して伝えることができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	グループでの作品づくりの演習を交えて、文学作品や日本語表現に関する講義を実施する。文字表現、口頭表現、映像表現それぞれの違いや効果を学び、効果的に情報を伝えるための方法を学ぶ。				
授業の進め方・方法	講義および演習を行う。演習はグループでの作品づくりを基本とし、適宜ディスカッションや発表の時間を設定する。授業時には作業に必要なPCやタブレット等の持参が望ましい。 この科目は学修単位科目のため、事前学習として資料調査、事後学習として内容に関するレポートを課する。				
注意点	この講義は、グループワーク・ディスカッション等の演習に重きを置き、参加姿勢・作品完成度を重視している。口頭発表や作品制作の機会が多いため、他の受講生とコミュニケーションを取りながら、積極的に作品制作に取り組むことができる学生のみ受講すること。				
授業の属性・履修上の区分					
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	ガイダンス・グループ学習について・表現の基礎	学習内容及び到達目標を理解し、取り組む課題を設定できる。B1-3	
		2週	日本における文学・表現の歴史①・調査	自分の意見を論理的に説明し、また異なる意見を受容しながら、討論することができる。B1-3	
		3週	日本における文学・表現の歴史②・調査	日本文化に触れて人間と文化を考える。A1:3, A3:1-2	
		4週	日本における文学・表現の歴史③・プレゼンテーション演習	様々な文学作品の中で問題点は何かを考える。C 1-4	
		5週	映画の歴史・立案	映画の歴史に触れ、人間と文化について考える。A1:3, A3:1-2	
		6週	映像作品づくり演習①・企画書づくり	グループで議論しながら目標達成のための計画を立て、文章化することができる。B1-3	
		7週	映像作品づくり演習②・コンペティション	グループの計画を他のグループに共有し、意見を反映させることができる。B1-3	
		8週	映像作品づくり演習③・脚本づくり	グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、作品を制作することができる。B1-3	
	4thQ	9週	映像作品づくり演習④・撮影	グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、作品を制作することができる。B1-3	
		10週	映像作品づくり演習⑤・撮影	グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、作品を制作することができる。B1-3	
		11週	映像作品づくり演習⑥・編集	グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、作品を制作することができる。B1-3	
		12週	広告の歴史・広告の制作演習①・調査	広告の歴史に触れて人間と文化を考える。A1:3, A3:1-2	
		13週	広告の歴史・広告の制作演習②・制作	グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、作品を制作することができる。B1-3、C 1-3	
		14週	発表準備	グループ作品を効果的に説明することができる。また、他者の作品を適切に評価することができる。B1-3、C 1-3	
		15週	作品の発表・審査	グループ作品を効果的に説明することができる。また、他者の作品を適切に評価することができる。B1-3、C 1-3	
		16週	授業の振り返り	これまでの内容を理解し、説明ができる。B1-3、C 1-3	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計	
総合評価割合	0	60	0	10	30	0	100	
基礎的能力	0	60	0	10	30	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	